

—あおぞら—

第 63 回大気環境学会年会の開催

第 63 回大気環境学会年会長
大阪公立大学現代システム科学域教授
竹中 規訓

第 63 回大気環境学会年会を 2022 年 9 月 14 日(水)~16 日(金)の 3 日間、大阪公立大学中百舌鳥キャンパスにおいて開催させていただくことになりました。新型コロナウイルスの影響で、まだ断言はできませんが、今の状況が特に悪化しない限り、3 年ぶりの対面での年会開催ができるかと思えます。

大阪公立大学は 2022 年 4 月に大阪府立大学と大阪市立大学が統合されてスタートした大学です。1996 年に第 37 回の大気環境学会が、前身の大阪府立大学で開催されて以来 26 年ぶりの堺での開催となります。

近年の大気環境問題として、地球温暖化に関わる温室効果ガスの問題、カーボンゼロ宣言にむけた排ガスの削減による大気改善や燃料へのアンモニア添加による新たな大気汚染問題の予感、大気マイクロプラスチック問題、新型コロナの感染に関連した PM_{2.5} の研究などがあげられます。社会的にも重要な多くの問題が本学会の活動内容に関わり、ますます本学会の重要度が高まっているように感じております。それに反して学会員の減少傾向は止まらず、これをくい止め会員増に転じるためにも年会の役割は大きいものだと思っております。本学会をさらに発展させるためにも、年会を対面で開催し、活発な議論の場になることを願っています。

会場は堺市の比較的住民の多い都市の中にありますが、周りには世界遺産の百舌鳥古墳群があり、日本一大きな仁徳天皇陵もあれば、会場のすぐ横には日本で 7 番目に大きなニサンザイ古墳もあり、独特の雰囲気を感じられるかと思えます。また、中世からの自治都市、堺の魅力に触れていただくと共に、少し足を延ばして、大阪の食も堪能していただければと思います。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。